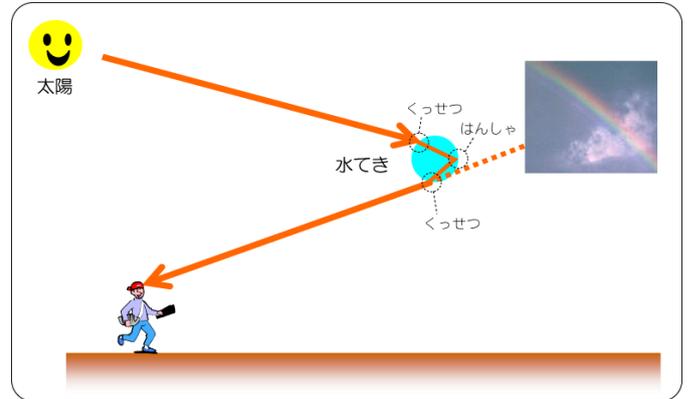


# 虹（にじ）

## 虹ができるわけ

夏の朝や夕方、虹を見ることがあります。ところで、虹はどうやってできるのでしょうか？

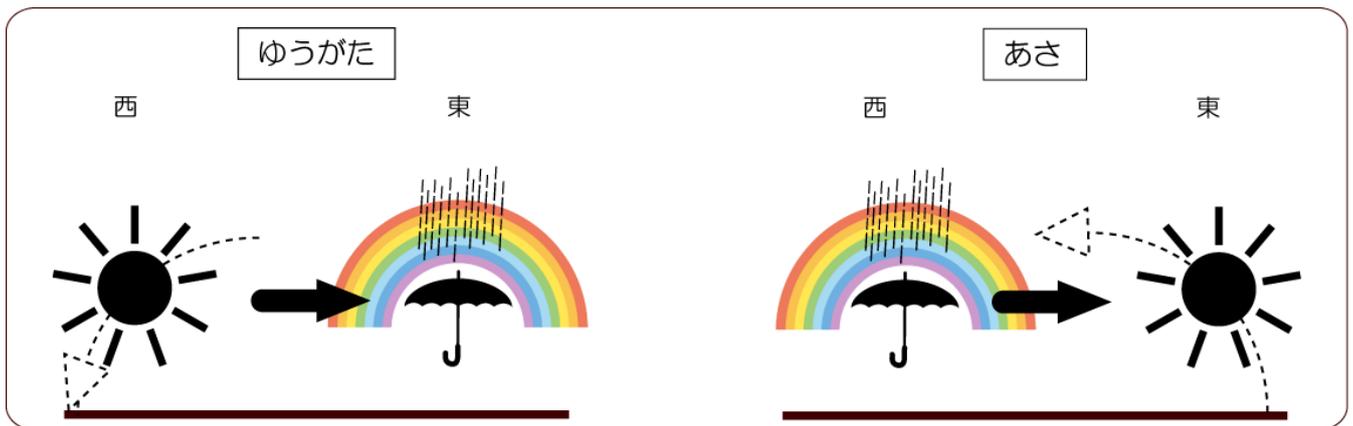
虹は、空に浮かんでいる水てきに太陽の光が入るとき、光がくっせつされ、水てきの中で反射し、またくっせつされて、水てきから出てくることによつてできます。



## 虹から天気を知る

虹から天気を知ることができます。「夕虹は晴れ」ということわざがありますが、どうしてでしょう？

夕方、虹が見えるのは東の空には、水てきがたくさん浮かんでいます。天気は西から変わります。水てきのたくさんあるところが去つたので晴れる、というわけです。反対に「朝虹は雨」ということになります。



さて、右の2枚の写真を見くらべてください。左の写真の虹の方が大きいですね。どうしてでしょう？

虹は太陽の高さによつて大きさが違います。太陽の高さが低いとき大きく、高くなるにつれて小さくなります。そして太陽の高さが42度をこえると虹は見えなくなります。太陽の高さが高い夏の昼は虹を見ることができません。